

【編集後記】

令和五年（二〇二三）年五月八日、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが五類に移行されました。九月には史学科の恒例行事であった研修旅行が、十一月にはコスモス祭における神女史学会大会が、四年ぶりに復活しました。

そうした明るい兆しが見え始めていた七月の末、梶木良夫先生が急逝されました。先生は学生とともに史跡を訪れ文化財に触れること、そして史資料を読み解く読書会を持つことを何より楽しみにされていらっしゃいました。ほぼ以前のような学園生活が取り戻されつつある今日この頃ですが、コロナ禍にあっても日常と変わらぬ学びを維持されんと献身奮闘されていた先生のお姿は忘れることができません。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

本号には論文を二本、研究動向論文を一本、調査報告を一本、書評を一本、合計五本を掲載することができました。ご投稿をたまわりました執筆者のご厚情に、心よりお礼を申し上げます。

（鈴木 宏節）

令和五（二〇二三）年十二月二五日 印刷
令和五（二〇二三）年十二月三十日 印刷

『神女大史学』 第四〇号

編集者 神戸女子大学史学会

代表者 山内晋次

発行所 神戸女子大学史学会

〒六五四八五五 神戸市須磨区東須磨青山二―一

電話（〇七八）七三一―四四一六（代）

印刷所 田中印刷出版株式会社

〒六五七〇八四五 神戸市灘区岩屋中町三一―四

電話（〇七八）八七一―〇五五一（代）